

## 八幡市域中高一貫教育に関する研究協議会（第5回）

1 日 時：平成18年3月13日（月） 午前9時30分～午前11時30分まで

2 場 所：京都府庁 旧本館会議室2 - I

### 3 概 要

#### （1）開会

#### （2）高校改革推進室長あいさつ

#### （3）府立高校改革推進計画に基づく「第4次実施計画（案）」について

#### （4）協議内容に係る府教育長への報告について

本年度協議を進めてきた内容について経過をまとめ、座長より報告を行う。

#### （5）意見等

##### 連携型による中高一貫教育について 前回から継続協議

- ・ カリキュラムの連携を如何に具体化するかが課題である。  
中学校で連携コースに入った子どもたちが高校へ移動して授業を受ける構想については、月1回程度であれば、時間割上で工夫をすれば可能であると思う。  
選択授業を活用して発展的な内容等を高校の先生から教えていただくとよいのではないか。  
総合的な学習の時間を活用する工夫が必要ではないか。
- ・ 八幡高校で実施した高校進学講座（月1回土曜日に実施）では、早期より目的意識を持って全回参加した子どもも多く、効果的であった。
- ・ 1高校と4中学校で月1回程度試行的な取組を行う中で、実施に向けて課題を解決していく必要がある。
- ・ 中学校での選択科目と高校での学校設定科目や教科を連携させ、中高6年間を見通した形で特色ある取組を進め、連携の効果を出すとよいのではないか。

##### 併設型中高一貫教育及び中等教育学校について

- ・ 南キャンパス構想に、併設型か中等教育学校による中高一貫教育の発想を盛り込めないか。また、中等教育学校を設置し、本校の普通科選択制と競合しない形で、医療系の大学進学を目指す高校生を育てるといった構想は持てないか。
- ・ 八幡にとってのメリット、京都府にとってのメリットも考え、専門学科での併設型等の中高一貫校といった方向性や必要性について議論する必要がある。
- ・ 理念的には併設型ということはわかるが、現実的な意味合いでうまくいくかどうか懸念される。